

鶴見区区政会議 平成 30 年度第 2 回防災・防犯部会議事録（要旨）

- 1 日 時 平成 30 年 10 月 16 日（火） 19 時 00 分～20 時 53 分
- 2 場 所 鶴見区役所 4 階 402 会議室
- 3 出 席 者
(委員)
田中（潔） 部会長、西口副部会長、内野委員、岡出委員、宮本委員、松原委員、西村委員

(区役所)
河村区長、野村副区長、嶋原市民協働課長、尾崎市民協働課長代理、前田市民協働課担当係長、黒田市民協働課担当係長、奥本政策推進担当課長
- 4 議 題
 - 1 区政会議における意見への対応状況
 - 2 平成 31 年度鶴見区運営方針のたたき台について
 - 3 鶴見区区政会議委員評価シート（結果）
 - 4 区政会議に関するアンケート（結果）
 - 5 その他
- 5 議 事
 - (1) 河村区長開会のあいさつ
 - (2) 区政会議における意見への対応状況について説明
 - 委員からの質問・意見等
 - 特になし
 - (3) 平成 31 年度鶴見区運営方針のたたき台について説明
 - ◇ 安全なまちづくり
 - ◆ 防災力の強化
 - 委員からの質問・意見等
 - 台風 24 号の接近時に避難所が開設されたが、防災リーダーに参加要請がなかった。避難所開設経験がないので、このような機会に参加し、経

験したかった。

→ 台風 24 号での避難所開設は自主避難所としての開設であったため地域防災リーダーには参加要請をしていない。鶴見区としては連合振興町会会長に情報提供ということで報告をただけである。

- 台風 24 号接近時に地域の中でトランシーバーにより連絡をとりあったが、連絡がとれなかったため結局携帯電話での連絡となった。地域には M C A 無線とトランシーバーが配備されているが、これには互換性がないため連携等について再度、方法を考えてほしい。また、運用ルールを定めてほしい。

→ トランシーバー 4 台で地域内での情報交換をしていただき、その情報を地域本部に集約し、地域本部と区災害対策本部との間で M C A 無線を使用していただくことを地域防災連絡会で周知している。

- 避難所開設時、避難された方が情報源として自家発電式のラジオを持参されたが、電波状況が悪く聞くことができなかったので、対策をお願いしたい。また、各小学校に自家発電設備を設けていただきたい。

→ 各避難所に 1 台、カセットボンベを使用し、約 1 時間稼働する自家発電機を配備している。また、来年度、手回し式のラジオの購入を検討している。情報収集としては S N S の活用も視野に入れてほしい。

- 災害発生に備え、協力事業所の耐震、建物の階数や広さを情報共有し、避難所までの一時的な避難所として使用できるようにならないか。

→ 協力事業所にはビル等を所有されている事業所もある。会社一般の人が入ってくることを懸念するところもあるが、可能であるかは今後確認していく。

- 全ての災害時に避難しなさいということは間違いであると思う。状況によって避難する時期、タイミングは違うと思う。災害の種類、程度によって自宅避難することも必要である旨周知が必要である。

→ 台風 21 号の接近時、一番風が強いときに避難所の問合せが多数あったが、外出は危険であるため自宅避難するよう促した。今後は風雨が強くなる前の早めの避難についての周知も必要であると思う。

☆ 安全なまちづくり

- ◆ 防犯対策
- ◆ 交通安全対策

➤ 委員からの質問・意見等

- 全ての方がマナー違反をしているわけではないが、マナー違反により賠償金が生じたりする。少しでもマナー違反をやめさせる手立てが必要である。
 - 今年度もスタントマンを使った交通事故の模擬再現による交通安全教室を行う。小・中学校へのチラシ配付等を行うなど広報に努めている。
- 広報紙に掲載する際、やってはいけないということより、自分が加害者になった場合、多額の損害賠償金が請求されるという事例も載せてはどうか。
- 防犯カメラは地域全体を網羅することを目的に設置すべきである。
- 地域でメンテナンスを任せるのであれば、地域のだれが行うか責任者を決めておく必要があると思う。地域の役員は2年で交代する。引継ぎがきちんと出来なければいけないと思う。
 - 引継ぎをしやすいように防犯カメラの設置場所の地図等を作成し、地域には提供している。
- 12地域で2台ずつは一見平等だが、地域によって危険度の差はあると思う。
- 一度、区役所で、各地域では防犯カメラのメンテナンスを実施しているかどうかを調査したらいいと思う。

(4) 鶴見区区政会議委員評価シート（結果）について説明

➤ 委員からの質問・意見等

- 区役所ではイベントを上手くコラボレーションして、集客力を上げるなどさまざまな工夫が感じられる。
- 高槻市や茨木市は地震による被害で避難所を開設したが、そういった市町村の職員にヒアリングなどは行っていないのか。
 - 大阪市危機管理室がヒアリングを行うことになるが、2年前の熊本地震では自治体の職員から聞き取りをしており、意見を参考にマニュアルの改定などを行っている。

(5) 区政会議に関するアンケート（結果）について説明

➤ 委員からの質問・意見等

- 次回実施時、評価シートはできたら専門分野別に分けていただきたい。
 - 評価シートについては、「思う」「やや思う」「あまり思わない」

「思わない」「わからない」の5つの選択肢があり、「わからない」は取組の評価を表す平均点の計算からは除外している。所属する部会の所管外で取組みの内容等が分からない場合は「わからない」を選択していただき、全ての取組みについて評価をお願いした。

(6) 事務連絡